

2012国民平和進行島根県実行委員会ニュース

2012年7月28日(土) 第6号

発行：島根県労働組合総連合 (Tel: 0852-31-3396)

県内行進 (7月30日まで) に参加しましょう!

「原発事故は大変な被害! まして核兵器はとんでもない!」



【7月27日午前 雲南市大東町】

昨日(7月27日)の行進と署名行動

- コース 午前：雲南市(加茂町・大東町)
午後：雲南市役所訪問、仁多郡奥出雲町
- 参加者 AM 12人(通し行進1、県教組4、松江保健生協労組3、
共産党2、松江保健生協2)
PM 11人(通し行進1、しまね労連1、県教組3、
松江保健生協労組4、さくらの家1、
共産党1)
- 署名：95筆、カンパ：22, 700円(いずれも自治体分を含む)
- ☆東部コース延べ参加者数：427人(7月27日時点)
- ☆「核兵器全面禁止のアピール」署名：477筆
- ☆募金：93,456円(自治体分を含む)

昨日(27日)午前は、雲南市の加茂町と大東町の町中を行進しました。署名・募金行動では、「若いときは広島、長崎の世界大会に参加した。がんばって」と激励を受け、広島の大原爆ドームの基礎工事をした土建会社の方からは、募金をいただきました。

午後はまず、雲南市役所を訪問。対応した深田徳夫市議会議長は「原発事故で大変な被害が出た。まして核兵器など、とんでもないことだ。雲南市は永井隆博士の教えを受け継ぎ、平和の教育と活動に力を入れている」と私たちの運動に共感されました。市から募金、市長と市議会からペナントをいただきました。

この後、奥出雲町へ移動し、三成と横田の中心部を行進しました。仁多庁舎(三成)での出発式では総務課長から激励のあいさつを受け、町からはカンパとペナントを、町議会からはペナントをいただきました。また、三成では戦争中に軍の通信の仕事をしていた男性(下写真の右端の方)から、戦争体験の話をもみんなで聞き、戦争の恐ろしさを知ることができました。



「核兵器廃絶や平和に対する想いを持っておられる方が想像以上にたくさんいて驚きました。そのような方が声をあげる機会がもっとできればと思います。」(K・T)

「核兵器廃絶や平和について、あらためて考える機会となりました。今後もニュースなど関心を向けようと思います。」(S・N)

「この暑さは、原爆投下の日と同じだったのだろうか。陽光に負けない熱い思いを世界に広げたい!」(K・S)

「詳しく説明しなくても無条件で署名して下さる方、早くカンパして下さいの方に、運動の継続の成果を感じました。」(T・N)

「初めて参加させていただいて、平和に対する思いがより強くなったと思います。貴重な体験をありがとうございました。」(H・F)

「2回目の参加です。平和への思いはあるのですが、自分はどうすればよいか?どうあるべきか?もう少し勉強しないといけないと痛感。暑かったですが、良い体験でした。仁多の方ありがとう!」(J・T)

